

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて人を二度死なせたの  
聞いて最初はどっぴりこりなと思いましたが、  
体が死んだら1度目の死でみんなのきおしからなくなったら  
2度目の死のを聞いて、このことは、わすれたら  
かたじけなくとも思いました。

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて  
みよしさんがらかいてねていたらなくなっていた  
けど2かいにいてよかったですとおもいました。  
でもこうべしんごんのなのかかんをみてすごいかんは、てる  
きもちが つたわりましたでもつらいのにさいごまで  
やりつづけていたのがすごいとおもいました。

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

「神戸新聞の7日間」を観て、  
当時の様子が、よくわしく知  
れて良かったです。教科書にのって  
いないことも、知れて「こんなことが」  
と思いました。

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

あすれられられたら2度目の死のことをきいて本当に  
だからあすれないうちにおにしているんだなと感じた。  
今からわかつくつくということは大変だ。

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

当時、まったく備えていなかった家庭が多かったか  
ら、死んでしまった人が多かったなら、備えをしてお  
こうと思った。

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

「神戸新聞の7日間」を見て、主人公の家が色々とおれで、もし  
重いものが上にもって出られなくなたらどうしようと思いました。  
三好さんの話を聞いて、わかいにいたが死んでいたと聞いていて  
おどろかされた。

5年（

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

ぼくは神戸新聞の日間をみてはしんあれい大しんさいかどれをけ  
おそろしいのが分かった。それからいつさいかいかおきもいよにぼくさいり  
をくつたりひがしよをかそくてきめておこうとおもた。

5年、

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

動画を見て大きいロッカーがたおれてきたりーしんんで電  
気がおちたりしてそう当すこい人だなというめが  
のかつ、いつおきるかわからなから準備はたたく事  
たしあらためて分かった。

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

日寺間かたつとあのころ震災を忘れてしまうかもしれない  
から忘れないで、この震災を失わない人たちに  
語りつくすことが大切だと思った。

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

「人は二度死ぬ」ときいて、私は人を二回死なせないように  
したいと思った。「2日時間のかへ」はほんじんあおじ大しんさいて  
できた言葉だと聞いてほんじんあおじ大しんさいてさまざな事  
を学んだのだなと。

地震がおきても私たちに伝

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

えるために新聞をいっしょけんめい作ってくれたから、情報を手に入れる  
事ができて助けられたんだなと思いました。きのうの話を聞いていつ  
±地震がくるかは分からないし、生きているうちにかならずくと分かって、平方  
災バッグなどを作りそなえておこうと思いました。「知らない人が  
伝える意味がある」ことを知り、私も、年下の子たちに伝えて「つない  
で」行きたいと思いました。

大切な事を話していただきありがとうございます。

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

阪神淡路大震災があらためてきつくと、物ごとくか  
く思った、神戸菜種油の工場が、うまと思て一人  
に大きなゆれで、おとすたてたか、流すか、ゆれ  
で地震、死のまじり、おとすたてたか、流すか

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

与れた時の映像を見て、与れた時に、色々なたなとかかたおれているのを見て、これからどうやって生き残るんかと思いました。また、家具をしっかりと固定するというのが大事だなと思いました。

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

1995年12月(はじめて知った)

京都で作たのはじめて知った。(おたがい助け合ってるんだなって思った)

ルミナリエができた

機械がこわれてた

3月でもまだ町はもとでなかつたのかびっくりした

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

自分の家ぐのことよりも、情報のことの方がゆう先することか  
まごいな食べ物は大丈夫なのかなと思った

神戸新聞の三好さんの当時のお話を聞いて

神戸新聞の7日間、をみて、「こんなつらいふうでも、世界にこのことを伝えることができた」と思いました。しんさいは、いつか  
わからないので、そなえたかと思いました。三好さんがいっていた、「日を大七か」  
や、ともしあせなことをあせなと思わるといって、  
じぶんは、ともしあせなをなると思いました。